

令和6年 第4回飯館村議会定例会

令和6年6月議会定例会が、6月14日から21日までの日程で開かれました。一般質問は18・19日に行われ、村議員が村政の重要な課題について村側の考えを質しました。議会審議は21日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。



今議会でも可決された議案など

令和6年度

飯館村一般会計補正予算

令和6年度飯館村国民健康保険特別会計補正予算

令和6年度飯館村介護保険特別会計補正予算

令和6年度飯館村農業集落排水事業会計補正予算

村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例

東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例

東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

村道舗装機能回復工事請負契約について

農業用機械購入（令和6年度飯館村被災地域農業復興総合支援事業農業用機械購入）の取得について

飯館村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

飯館村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

報告第1号
令和5年度飯館村一般会計繰越明許費繰越計算書

報告第2号
令和5年度飯館村一般会計事故繰越し繰越計算書

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています。

長泥地区

今後の特定復興再生拠点区域外の避難指示解除に向けた進め方として、資源活用型堆肥製造施設及び外縁部除染済み農地の一部について、令和7年春の避難指示解除を目指して、国・県と協議を進めていくことを、去る5月12日に長泥行政区住民の皆さまに説明し、ご了解をいただきました。

また、5月30日には、第2回飯館村環境回復検討委員会を開催し、長泥地区の現地を視察いただくと共に、空間線量率の変化状況などについて確認し、協議を行いました。

引き続き、長泥地区全域の避難指示解除に向けて、尽力していきます。

移住サポートセンター

令和6年度飯館村交流・移住・定住等促進支援業務について、プロポーザルによる審査を経て、4月1日に新たに株式会社サガデザインシーズと業務委託契約を

締結しました。

なお、今年度当初に、委託業者が愛称募集を実施し、いいたて移住サポートセンターの愛称が「3ど（さんど）」と決まり、そのお披露目会が5月7日に行われました。移住定住希望者及び関係者へのきめ細やかな対応を期待しているところです。

宿泊体験館「きこり」

平成28年3月に再オープンした入浴施設の利用者数は、本年4月末時点で4万9333人、平成29年5月8日に業務を再開した素泊まりの宿泊者数については、本年4月末時点で8664人であり、村民の憩いの場交流の場となっています。

また、本年5月1日から、きこり内の「やまぼうし」にて、軽食の提供が開始されており、指定管理事業者である飯館村振興公社による宿泊・入浴、食事の一体的提供、お客様の満足度の向上、利用客数増を進めています。

企業誘致

令和6年3月19日に、株式会社ハシドラッグと草野地区の商業施設内への出店に関する基本協定を

締結しました。令和6年4月11日には商業施設の建設地において、安全祈願祭が行われ、令和7年春のオープンに向けて本格的な建設工事が開始されています。村内の買い物環境の向上を図り、村民の帰還や移住の促進、村の賑わいにつなげていきます。

また、本年3月末からは、埼玉県に本社を置くCRSスポーツ工業株式会社が、旧草野小学校校舎を拠点とする「飯館工場」及び飯樋町地内の空き工場を拠点とする「飯樋工場」を開業しており、村出身の若者を含む10名ほどの雇用を生み出しています。

今後とも、村内企業の活性化と併行して、村内への新たな企業の誘致を進めることにより、雇用創出、定住促進を図っていきます。

マイナンバーカード

5月12日現在のカード交付率は75.6%となっており、村では、引き続きカードの申請および活用方法などの周知を図ると共に、職員による申請サポートなど、村民のカード取得に向けた取り組みを進めていきます。

村民の帰還状況

5月1日現在の村への帰還者は629世帯、1193人で、帰還率は約25.9%です。これに、転入者267人といったホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は809世帯、1520人です。避難を継続している方は、県外避難者が149人、県内避難者は、福島市に1935人、南相馬市に275人、伊達市に238人、川俣町に226人、相馬市に117人など、合わせて2935人です。

新型コロナウイルス

村内「いちばん館」での集団接種について、令和4年2月に3回目接種より開始し、37日間で延べ7248人が接種しました。また、避難先自治体での接種を合わせると、令和6年3月末までに、延べ2万6228人が接種しました。なお、新型コロナウイルスの全額公費による接種は令和6年3月31日で終了しており、令和6年度については、65歳以上の方等に秋以降に定期接種として行われる予定です。詳細が分かり次第お知らせします。

農政関係

木質バイオマス発電施設等緊急整備事業について、現在は工事が完了し、5月の初旬から「飯館みらい発電所」のボイラーの燃焼性能及び発電機能に関する試験が行われています。正式な営業運転は今年7月の開始を予定しており、引き続き事業主体である飯館バイオパートナーズ株式会社に対し、安全性の確保や放射線対策、情報公開などを指導していきます。

建設関係

村道舗装機能回復工事は、今年度15路線、4.5kmを計画しているほか、長泥地区内の村道舗装機能回復工事に向けた路面調査を実施していきます。

農業基盤整備促進事業による水路工事は、15行政区において工事を進めています。また、各行政区に工事協議担当者を選任していただきましたので、地元関係者との調整を迅速かつ的確に行い、営農再開の早期実現に向けて取り組んでいきます。